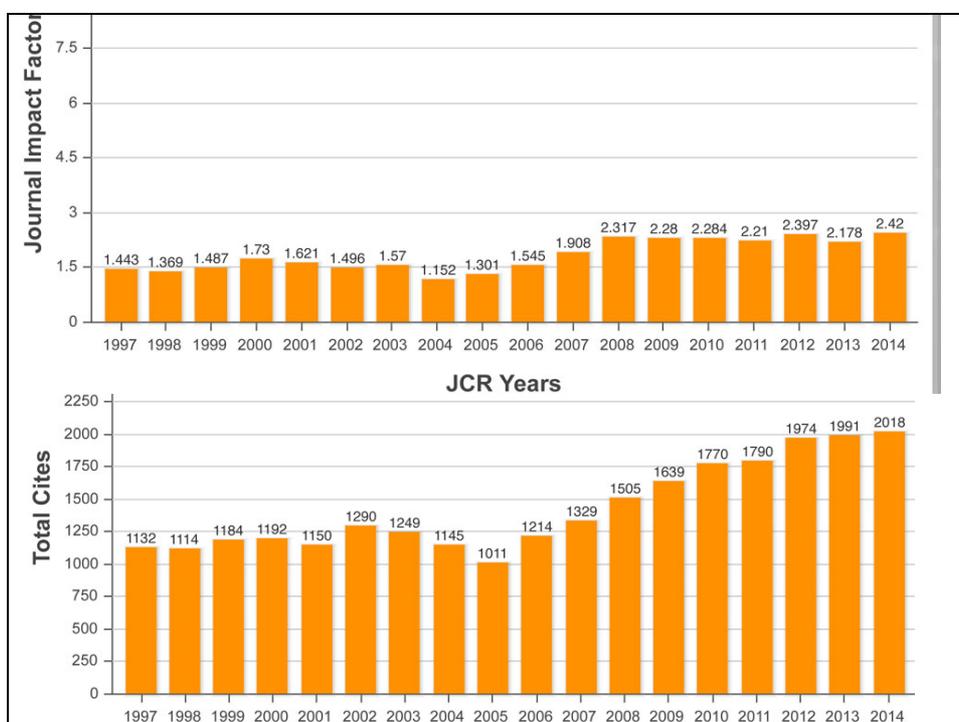


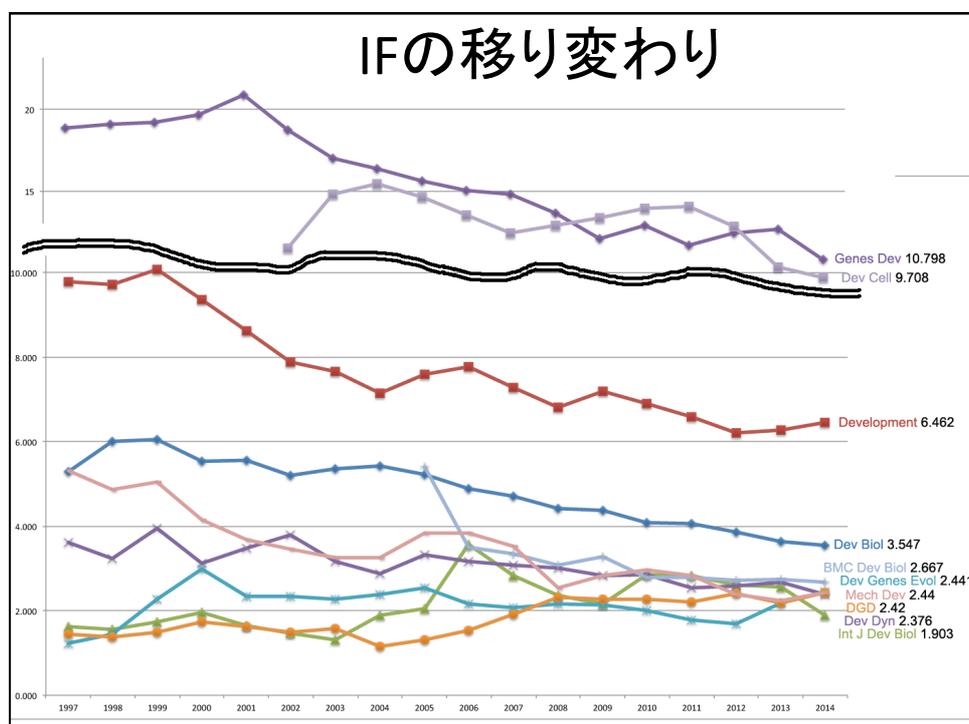


DGDの戦略

仲村春和

Development, Growth &
Differentiation編集主幹





戦略1: 時間のImpactをあげる

- 論文の質のImpact: 査読により向上させる

いちゃもんに近いコメントはスルー

Life Scienceの論文に完璧さがもとめられるか?

- 時間のImpactは徐々に下がる

査読を早く

重箱の隅をつつかない。

早く出版

Year	DGD-初回投稿から 判定までの平均日数
2012-2015	
2012	14
2013	13
2014	13
2015 (Jan-June)	11

戦略2: 特集号および総説の充実

・2号/年の特集号

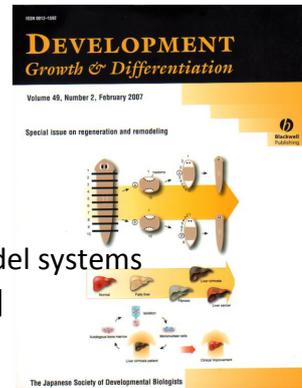
学会シンポジウムの特集号

狭い意味の発生生物学にこだわらない

Genome Editing, RNA特集, Avian Model systems

Genome Editing特集(2014)の引用が好調

Immediacy Impactが1を超えた



・原著論文を発表した若手に総説の依頼

戦略3: 査読者選び

迅速で的確な査読のため

- 大御所ではなく若手の研究者に依頼
- Volunteer reviewersの活用

問題点

- Journalのあり方 : DGDは今年からOnlineだけ
- 投稿論文数の減少
 - 大学院生の減少
 - Open access journals
- 倫理的な問題
 - 多重投稿 : 投稿時、採択時にcross check
 - 動物実験、ヒト組織を使った実験